

平成29年度 事業報告書

社会福祉法人白菊会
かみこまつ保育園

(1) 法人としての取り組み

本年は社会福祉法人改革が四月に施行された。

昨今の少子化でありながら待機児未解消という複雑な状況のなかで、当法人を取り巻く事業環境としては、株式会社等による地域への新規大量参入の時代を迎えた。こうして待機児数は、当地域の人口流出入の状況と新規参入事業所数との因子の動向によって、充足と不足の不安定な状態に達し、この年度末には重点課題の項目から外れつつあると分析せざるを得ない。

今後を見据え、法人は評議員会運営・社会貢献活動・保育士の育成といった困難な課題を一つ一つ克服しつつ、保育の質を高め、将来にわたって想像力溢れる人材を育成し、事業内容を効果的に広報することを通じて、競争に生き残っていかなければならない。

そうした課題に対応しつつ次世代の経営者を育成しながら地域社会の信頼にこたえていくことが必要とされている。

*人員構成の報告（看護師、主任保育士等を除く。）

年令	クラス名	クラス定員 () 内は4/1実員の見込み	保育士配置数
0歳児クラス	ひよこ組	9名(9)	3名
1歳児クラス	あひる組	12名(12)	2名
2歳児クラス	ひばり組	12名(12)	2名
3歳児クラス	うさぎ組	12名(12)	1名
4.5歳児クラス	くま・ぞう組	25名(23)	2名
計		70名(68)	12名
一時保育	りす組	(~5名)	(2名(兼任))

職員 員—20名 ほかに非常勤職員等11名

(2) 保育の報告

保育の内容は安全性を最優先に、人権に配慮しつつ、落ち着いた、基本に忠実な良質の接遇となるよう、全職員で取り組んできた。

保育の詳細は、保育・保健・給食の各報告を参照願いたい。

一時保育事業に関しては、葛飾区の事業「待機児童緊急対策事業」を引き受けた。

また子育てひろば事業では、イベントへの招待や情報発信などを通じて地域の子育て家庭が利用しに来て頂けるケースが増加傾向にある。

(3) 環境整備の報告

園内の殆どの空間は公的スペースであるため、「誰が入っても恥ずかしくない環境を維持する」ことを職員全体で徹底する。

また、鳥やカメなど小動物の飼育や触れ合いを通じて、子どもたちが自分以外の世界に温かいまなざしを向ける気持ちを育んでもらうことを目指した。

(4) 質的向上のための研修等の報告

- * OJTを通じて職場内研修を8月を除く月一回実施した。
- * 個人別研修計画に基づき、また外部研修についてのガイドラインに従い、職員を外部研修会に参加させた。
- * 保育の質向上に向け、キャリアアップ指導計画を策定した。

(5) その他

- * 小学校との連携を進めるため、連携事業を計画し、小学校や学童保育所への移行がスムーズに進むよう、環境整備をはかった。
- * 中学生、高校生の職場体験や養成校の保育実習生を積極的に受け入れ、また施設長が地域の小学校の学校評議員を務めたり、青少年育成地区委員会の委員を務めたりする等、地域や区からの要請を積極的に受け入れて活動を行った。
そうした日々の繋がりの中から、地域代表者でもある評議員との情報交換を密にし、地域における需要や要望の収集を図った。

(6) 保育理念

この保育園は、穏やかで安定した環境の中で、すべての子どもの最善の利益を確保しつつ保育を行い、その家庭の健全育成をはかるとともに、地域の子育て支援を通じて社会に貢献する。

(7) 開所時間

- イ. 午前7時00分～午後6時00分
- ロ. 午後6時00分～8時00分（延長保育。土曜日を除く）

(8) その他

定時評議員会 平成30年6月10日 正午から 玉寿司（葛飾区東新小岩5丁目）にて（予定）

クラス保育目標	年間の評価
<p>3歳児 うさぎ組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の自立を確立する。 ・友達と関わる事を楽しみながら、つながりを深めるとともに異年齢の友達との関わりにも親しんでいく。 ・粘土・製作などを通して自由に表現することを楽しむ。 ・自然や身近な生き物に親しみを感じ、おもしろさや美しさなどに気づく。 ・自分の気持ちを言葉で伝え、イメージを言葉や行動などで自分なりに表現できる。 	<p>3歳児 うさぎ組</p> <p>進級当初、生活習慣が自立している子が多かったので、朝夕の支度等も混乱少なくできていた率先して動ける姿に何度となく驚かされた。クラスの雰囲気として、人の話をきちんと聞くことができるので、全ての活動がスムーズに進んだ。製作や月刊絵本など決まっていた活動に加えて、リトミックや鉄棒を定期的に行うこともできた。全身を使って運動することや表現を楽しむといったことが次年度へ生かされることを期待したい。製作でははさみで動物の形を切りとるなど、細かい作業にも取り組むことができた。個人差はあるが、自分でできることが増えてくると、日々の遊びでの製作も幅が広がっていた。衣装や小道具など作りたいものを自分でみつけ、できる部分は自分の力で作り上げていた。夏期保育あたりから4、5歳児と日常的に交流してきたことも安心な要素だった。食事や遊びの時間を共に過ごし、仲間意識が芽生えてきたと感じる。</p>
<p>4歳児 くま組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分でできることの範囲を広げながら、健康で安全な生活に必要な生活習慣を身につけ、自分から行動する。 ・友達と一緒に行動する楽しさを感じ、お互いの気持ちを共有し、共に遊ぶことを楽しむ。 ・子ども達一人一人の気持ちを受け止め、自分でできる行動範囲を広げ何事にも挑戦していけるようにする。 ・一人一人の子どもが自分の思いや、それぞれの経験や知識などお互いに受け入れられるよう配慮し、明るく伸び伸びとした園生活が送れるようにする。 	<p>4歳児 くま組</p> <p>進級当初から大きな戸惑いはなく1階の部屋にも慣れただのスムーズに進級出来ている様子が伺えた。ただ、そういった慣れから朝の支度ははふざけてしまい取り掛かるのに時間がかかっていたりどんな時でも大きな声を出している事が多かった。友達との関わりが増えてくる一方で何かとトラブルになりやすく、常に保育者がついていようような状態が続いていた。途中から3・5歳児と一緒に朝の会をしたり給食を食べたりした。そうする事で全体的に落ち着き、異年齢児交流にもなったので良かったと思う。また、後期になってくると前期に比べてクラスでの活動も落ち着けるようになった。特に行事では、根気よく頑張る姿がみられた。来年度は年長児として自覚を持ち、年下の子の面倒を見てくれると期待している。</p>
<p>5歳児 ぞう組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色々な経験をすることで、基本的な生活習慣や自主性・協調性を身につけ、思いやりや感謝の心を持ち充実感を味わう。 ・やればできる経験を重ねて、喜びにつなげ活動に意欲的に取り組む。 ・身近な自然に興味関心を持ち、好奇心や探求心を高め、感性を豊かにする。 ・生活や遊びの中で仲間との関わりを深め、協力しあう大切さを知る。 ・小学校と交流する機会を持ち、学校生活の見通しが立てられるようにする。 	<p>5歳児 ぞう組</p> <p>一期はぞう組になり、緑色のハッチになったことへの嬉しさを感じ、様々なことに意欲的な姿が見られた。野菜やひまわりの苗、今年も稲(種)から発芽も植え、みんな大事に育てた。毎日成長を楽しみに観察している姿が見られた。二期に入ると夏期保育が始まり、異年齢との関わりも増え年下の友達に優しく接する姿も多く見られるようになってきた。水遊びでは顔を付けて潜ったり泳いだりと、去年よりもダイナミックに楽しんで遊んでいる姿が印象的だった。三期では、運動会・お遊戯会と年長児としての頑張りを見せる行事が続いた。“やるときはやる”を基本に練習を重ねるたびに仕上がっていった。特別にお遊戯会では孫悟空物語でそれぞれの個性が光ったと思う。行事を重ねる度に成長していく姿を見ることが出来とても嬉しかった。四期は、就学に向けて意識をし、保育にあたった。卒園までの時間を大切に過ごせるようにも心掛けた。文字練習では集中力が続かず声掛けが必要になり、文字練習の時間は静かに行うことが出来る様になった。文字にも興味を持ち、就学に向けても期待をもっている姿がみられた。卒園遠足はみんな最後の遠足となり、とても楽しむことが出来た。卒園式を迎えるまで、今まで育ったことを振り返りながら、感謝の気持ちも持つよう心掛けた。卒園式当日は全員揃って式を終えられたこと、保護者の方々の感謝の言葉等を聞き、一年間が無事送られたことに感謝している。</p>

クラス保育目標	年間の評価
<p>0歳児 ひよこ組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとりひとりの要求を受け止め、保育士との温かい関わりの中で信頼関係を築いていく。 ・個人差に留意しながら、離乳や歩行の完成、発語を支えていく。 ・五感を刺激する遊びを通して感覚の発達を豊かにし、身の回りの物事へ興味・関心が持てるようにする。 	<p>0歳児 ひよこ組</p> <p>月齢が低い子が多く、また、ミルクを嫌がる子が多かった為、飲ませるために色々な工夫を行った。食事は、固さや大きさに苦戦し、食べられない子がほとんどで色々な方法であげることがほとんどだった。睡眠は、なかなか安定して一定時間眠れない子が多く、後半に入りやると一定時間眠れるようになった。遊びでは前半はすりばいやハイハイ、つかまり立ちを、楽しみながらほとんどの子がおもちゃを口に入れて遊んでいたが、後半になり歩ける子が増えてくると活動的になり走ったり、お友達との関わりも増え玩具の取り合いなども見られるようになってきた。人見知りや担任以外に警戒する子が多いので新しい環境に慣れてくれるか不安はあるが新担任と引継ぎをしながらスムーズに進級していくことを望む。</p>
<p>1歳児 あひる組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士との安心できる信頼関係を通して、友達に関心を持ち、人への関係を広げていく。 ・自分でやってみようという気持ちが芽生え、少しずつ基本的な生活習慣を身につける。 ・言葉や表現、体を使って、自分の思いを表す。 ・全身を使った遊びを楽しむ中で、運動機能を伸ばすと同時にしっかりと歩けるようになる。(誘導ロープを掴んで歩く) 	<p>1歳児 評価</p> <p>新入園児に加えて、待機児童解消のための一人枠があり13人でのスタートであった。新入園児は比較的早く慣れていたように感じる。昨年度から早番に入っている子も多く、この保育室には慣れていくと思うが新しい流れに慣れるまでに時間が掛かった。また、年度の途中で待機児童解消枠の入れ替わりがあり、落ち着くまで時間が掛かった。食事に関しては好き嫌いが多く、また食べず嫌いの子も多かった。すりつぶしたり、小さく刻んだり、時には果物をジュースのようにしたこともあった。楽しいことややりたいことがはつきりとしていて、その説明を聞く時にはしっかりと耳を傾ける姿に驚かされた。遊びの面でも成長が見られ、友だちを誘って一緒に遊べるようにもなった。前期は噛みつきなども多々あったが、自分の気持ちをしっかりと簡単に言葉で伝えようとする姿がみられた。</p>
<p>2歳児 ひばり組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心できる保育士のもとで簡単な身の回りのことを自分でやろうとする。 ・友達と一緒に同じ遊びを楽しみながらその中で自分の思いや欲求を言葉で表現しようとする。 ・自然に触れ、季節を感じながら戸外遊びを楽しむ。 	<p>2歳児 評価</p> <p>新しい環境や担任に戸惑う子が多いと予想していたが、すぐに慣れてくれスムーズに進級出来た。なかなか落ち着いて遊びこむことが出来なかった為、保育室の環境を整えたり興味のある玩具を用意する等の工夫をした。少しずつだが遊び込めるようになり、椅子に座って落ち着いて遊ぶ姿も見られるようになった。進級当初から食の進みが悪く、給食の時間にかなり苦労した。食育を多く取り入れ様々な食材に触れることで、興味を持ち食べられるようになった食材も増えた。甘えや自己主張が強く、思い通りにいかないとすぐに手が出ることも多かったので、お互いの気持ちを代弁したり受け入れたりしながら、自分の言葉で伝えるように配慮した。また身の回りのこともすぐに出来ないと言いつつ進んでしまふことが多く、根気強く伝えていった。四期に入り進級への期待が高まり、自分のことを進んでやる姿も見られた。個性が強い子が多く個別対応も多かったが、1人1人の子とも根気よく向きあうように心掛けた。自分で出来るようになったことも増え、落ち着いて話を聞けるようにもなり、この1年でとても成長した姿が見られた。</p>

平成 29 年度

かみこまつ保育園保健計画実績報告書

月	年間目標	保健・園行事	実施日	健康面・安全衛生留意点	保護者、園児への働きかけ	職員の保健行事	保健事務その他
				・疾病の早期発見と感染予防 ・安全衛生に留意し健康保持増進に関する指導 ・心身共に健やかな体をつくる ・戸外で身体を使って十分遊び丈夫な体をつくる			
4月	・入園式 ・保護者会 ・身体測定(月1回) ・定期健康診断(全児)	4月3日 4月7日 { 4月114日 5月16日 6月16日 4月26日 5月24日 6月28日 毎月第4水曜 6月8日 6月15日 6月17日 6月30日	・入園前の健康状態、体質などを把握する。 ・日々の巡視にて日常の健康状態を把握。 ・SIDS について学習と対応。乳児の睡眠チェックを行い事故防止に努める。 ・環境の変化に伴う体調の崩れや事故に注意する。 ・健診が円滑に行えるように配慮する。 ・子育て広場にて(8月を除く) ・歯磨き指導を通じて歯磨きの大切さをしる。 ・下痢・嘔吐の際は感染を広げないように的確に処理をする。 ・頭ジラミ発見のための頭髮チェック。 ・虫よけの使用を開始。	保健行事、感染症、具合の悪いとき、ケガの時など、保育園での対応及びSIDS 対策についての説明を行った。 ・家庭生活と保育園生活の違いや、安全衛生について、保護者会、ほけんだよりを通して知らせる。(4月7日) ・健康診断、歯科健診、身体測定の結果を知らせ、必要に応じて治療を勧める。 ・下痢嘔吐時の汚染された衣服等は、感染拡大防止のため園では洗浄しない旨を伝える。 ・ハッカ油・精製水を使用している旨を伝える。	・検便 4月 ・栄養士、調理員、0歳児担当保育士 ・看護師(1回/月) 4月7・5月12 6月6・7月7 8月4・9月1 10月6・11月2 12月61・1月12 2月2・3月9実施 その他保育士 6月6日実施 ・定期健康診断 5月15・16・18・19・ 22・23日に実施 ・救命講習 訓練用AEDを使用し、心肺蘇生訓練 7月5・6日実施	・新入園児の健康状況(病歴)アレルギー、使用薬品の有無、留意点など全職員に伝える。 ・保健だより作成 ・保健日誌の記入 ・0歳児の健康観察及び記入。 ・定期健康診断、身体測定の結果を記入し保護者に伝えた。 ・歯科健診日程調整 ・歯科健診記録用紙の準備をする。結果のお知らせを保護者に伝える。(6月20日配布) ・検便容器の準備、配布。 ・職員健診日程調整 ・結果配布 ・遠足時の携帯救急バツクの中身確認と補充する。	
7月	・身体測定 ・夏祭りお泊り保育	{ 7月13日 8月10日 9月14日 7月14日	・クーラーによる冷しすぎ、部屋の換気に注意する。 ・食欲の減退や体力の低下に注意し、睡眠、栄養が十分とれるように促す。 ・熱射病予防のため戸外出るときは着帽励行。 ・体温上昇と水分補給に配慮する。	・栄養、睡眠、休息に心がけ生活のリズムを乱さないように注意する。 ・冷たいものを摂りすぎないように注意する。 ・熱中症予防を呼びかける。 ・ほけんだよりを通して、夏の感染症、過ごし方などを知らせる	・栄養、睡眠、休息に心がけ生活のリズムを乱さないように注意する。 ・冷たいものを摂りすぎないように注意する。 ・熱中症予防を呼びかける。 ・ほけんだよりを通して、夏の感染症、過ごし方などを知らせる		
8月	乳児健康診断	{ 7月18日 8月22日 9月19日	・プールに入る前に臀部をよく洗い流す。 ・健康状態を把握して、水温、気温、水深を確認する。	・プール遊びの健康チェックに協力してもらおう。			
9月	親子遠足	9月30日					

10月	<ul style="list-style-type: none"> ・歯みがき指導 幼児 乳児 ・歯科健診(全園児) ・定期健康診断 	<ul style="list-style-type: none"> ・菌磨き指導を行い歯に関心を持たせる。 ・室内の温度、湿度、および換気に心がけ適切な環境を保つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザワクチンの接種を勧める。 ・インフルエンザ出席停止期間早表を配布する。10月配布 ・風邪は初期段階できちんと対応し、悪化させないように治療を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本、紙芝居、ペーパーなどを使い子どもが興味を持つような題材を用意し、保健指導を行う。 (歯みがき指導・手洗い指導など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本、紙芝居、ペーパーなどを使い子どもが興味を持つような題材を用意し、保健指導を行う。 (歯みがき指導・手洗い指導など) 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・身体測定 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい手洗い方法、うがいの指導を行い、手洗いうがいの習慣が身につくように働きかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザワクチンの接種を勧める 	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザワクチンの接種を勧める 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症マニュアルを用いて確認 ・嘔吐下痢などの処理法講習 	
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・身体測定 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい手洗い方法、うがいの指導を行い、手洗いうがいの習慣が身につくように働きかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザワクチンの接種を勧める 	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザワクチンの接種を勧める 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症マニュアルを用いて確認 ・嘔吐下痢などの処理法講習 	
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い指導(ぞう組) 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい手洗い方法、うがいの指導を行い、手洗いうがいの習慣が身につくように働きかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗いチェッカー・チェッカー専用口シシオンを使用し、手洗いをするうえでどこに注意して手洗いをするとよいかを一緒に考え、実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗いチェッカー・チェッカー専用口シシオンを使用し、手洗いをするうえでどこに注意して手洗いをするとよいかを一緒に考え、実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・救命講習(救命処置心肺蘇生・人工呼吸器)2月26・27日実施 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会 ・手洗い指導(くま組) 	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗いの歌を歌いながらどの部分をよく洗うか等の正しい手洗い法を指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進級・進学するにあたり予防接種の漏れはないか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進級・進学するにあたり予防接種の漏れはないか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・救命講習(救命処置心肺蘇生・人工呼吸器)2月26・27日実施 	
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ぞう組身体測定 ・新入園児説明会 ・新入園児健康診断 ・乳児健康診断 ・卒園式 ・就学前指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・健診時、園児に危険がないように部屋の環境を整える。 ・乳児健診とともに新入園児の健診がスムーズに出来るように準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健だよりを通して、感染症の状況を知らせる。 ・成育歴(出産時、発育、体質、既往歴予防接種など)不安な事はないか把握する。 ・就学・進級にむけて、心も体も成長したことを確認する。(牛乳パックを用いてパック何本分大きくなったかを伝える) 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健だよりを通して、感染症の状況を知らせる。 ・成育歴(出産時、発育、体質、既往歴予防接種など)不安な事はないか把握する。 ・就学・進級にむけて、心も体も成長したことを確認する。(牛乳パックを用いてパック何本分大きくなったかを伝える) 	<ul style="list-style-type: none"> ・3月6日～作成実施 ・次年度に関する書類準備 ・30年度保健計画作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・30年度保健計画作成

給食・食育計画年間報告書

平成29年度 3月 31日

栄養士 佐藤 美聡

■食育(年間として)

- ・行事の変更で、日程を変更した所があったがほぼ計画通り行えたので良かったと思う。
その年の子ども達の様子によって、計画通り行うのが難しかったり、計画以外の活動も出来たりと、例えば同じ3歳児でも年によって出来る活動のレベルも変わってくるので、次年も担任と相談しながら臨機応変に取り組んでいきたい。
- ・三時おやつ年間計画の変更・調整を行った際、それに繋がる食育活動(おにぎりにぎり(1歳児))の確認をしなかったため、日程の都合により、結果、活動が出来なくなってしまった。給食・おやつメニューに合わせて組んでいる食育活動も多いため、確認忘れの無いよう気を付けたい。

■おやつづくり(ぞう組)

- ・今年度は2回行うことが出来た。子ども達もとても楽しんで活動していたように思う。
メニューは担任と相談をして決めたが、工程が少なくても子ども達が楽しめて負担にならないもの・保育室に熱源を持ち込まずに済むもの(ケガの防止)・衛生面でもOKなもの(直接接触したものはその後加熱するなど)をポイントにメニューを考えた。次年度もその3点をポイントに考えると良いと思う。
- ・冬場は特に感染症が流行するため、今年度は時期をずらして1回目の活動を行った。そのため、病欠の子は無く行うことが出来たので良かった。2回目に関しては流行の無い所を選んで行い、こちらは全員が参加することが出来た。1度は確実に行いたいので、1回目は感染症の少ない安定した時期に、2回目はもし行うのであれば、その時の様子を見て活動出来たらと思う。

■野菜の皮むき等のお手伝い

- ・今年度は希望が少なく、計画で盛り込んだもの以外はほとんど行っていない。作業も簡単で、子ども達の食事の食べも良くなるので、各クラス余裕があれば勧めて行こうと思う。

■果物シロップ

- ・幼児組を中心に、年間を通して行えた。シロップにした果物を更にジャムにしたものもあり、子ども達は喜んで食べていた。季節によって旬の果物があり、シロップに向き不向きもあるので、その都度担任に勧めて取り組んで行けたらと思う。

■栄養指導

- ・食事のマナーなどの栄養士による指導を定期的に取り入れたため、気も引き締まり良かったように思う。日々保育者と共に繰り返し声掛けはしているが、なかなか思うように改善していかなかったので、次年度も様子を見て行きたい。(食事時の姿勢・茶碗の持ち方・お喋り・ばっかり食べ等…)

■箸

- ・4歳児6名移行。練習時、スプーンの持ち方(三点支持)は上手だが、箸となると持て余してしまい、難しい様子の子が数名見られた。保育の遊びの中に取り入れ、練習して様子を見て行きたいと思う。

■配膳について

- ・今年度、幼児組は配膳の方法が変わった。配膳中に子どもが傍まで来ることが多くあったので、危険を感じるが多々あった。保育者の日々違う指示に戸惑っている様子だった。年度が変わる際には、子ども達に改めて注意喚起し、保育者とも声を掛け合っ子ども達に危険の無いよう努めて行きたいと思う。

■食事

- ・幼児組の様子を見てみると、三角食べの出来ない子が多い。日々声掛けはしているが、様子を見て行きたいと思う。
- ・幼児組のおかわり制について。特に3歳児クラスでは、分量を減らす子が多く見られた。苦手なものを減らす方法については少し疑問に思う点があるので、例えば『苦手な食べ物にもこんな栄養がある』ということや、『料理や食材も一生懸命作っている人が居る』など子ども達が『頑張ってみようかな』と思い、努力に繋がるような声掛けなどして行けたらと思う。

■保育士より(ひよこ組)

- ・今年は月齢の低い子が多く、食べるのにとても苦労した。給食室と連携を取り、年間を通して、食材を細かくしてもらったり、柔らかくしてもらったり、とろみをつけてもらい量も多くしてもらったりと、色々対応してもらったのはとても良かった。
- ・ミルクを飲む子が多かったのもあって、保育者間で上手く連携が取れず、粉ミルクが足りなくなる時があったので、今後気を付けて行かなくてはならないと反省した。